

# 病院見学等で北海道外に滞在する場合の注意点

## 【出発前】

学務課学務・学生支援係に報告した後も、移動先の流行状況の把握に努め、目的地への移動が制限されていないか確認するなど慎重に行動してください。

## 【北海道外滞在中】

感染リスクの高まる場面として、場所の切り替え時があります。

医療系大学の学生として自覚をもって行動しましょう。

マスクの着用や手指衛生の徹底、「三密」を避ける等、感染リスクを低減する 行動を徹底してください。

- ① 見学先の病院の指示に従ってください。（不織布マスク着用を推奨）
- ② 道外滞在中も体調管理を行い、体調不良などあった場合は直ちに見学先の病院や学務課 学務・学生支援係に連絡してください。
- ③ 見学先の病院以外（ホテル等の宿泊先や食事時など）でも感染リスク行動は避けてください。  
（例：同居家族以外との食事は控える、マスクを外しての会話は避ける 等）
- ④ 病院見学行程表の他に、行動履歴がわかるように各々で記録に残してください。

## 【札幌に戻ってから】

感染予防対策を徹底して「登校しながら経過観察」をしてもらいます。

- ① 帰札後もマスク着用、手指衛生などの感染予防対策を徹底してください。
- ② 帰札後14日間（※参照）は、体温測定、症状観察を徹底し、健康観察期間は毎日体調報告をしてください。  
※報告先：[kansatsu@sapmed.ac.jp](mailto:kansatsu@sapmed.ac.jp)（休日は休日対応電話：090-1526-9785）  
※札幌に戻った日を0日として、潜伏期間の14日間を経過観察します。  
※14日目の夜まで症状がないことを確認するため、最終報告は15日目となります。
- ③ 指定された日時に「病院見学後の新型コロナウイルス検査」を必ず受けてください。  
※帰札から検査結果が出るまでは自宅待機となります。  
※検査の日は検査前にその日の体調を上記アドレスに報告してください。
- ④ 発熱や風邪症状が出現した場合は、欠席又は早退して、学務課 学務・学生支援係に報告をしてください。

詳細は、新型コロナウイルス感染症対策ハンドブック【別紙4：欠席等による経過観察一覧】を参照のうえ、確実に対応をしてください。